

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	5-2-1			事業名	子ども体力向上事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (実績)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (実績)	22年度末 (目標)	
運動教室数	モデル 2教室	10教室	28教室	38教室	56教室	全市で 100教室	
指導者の養成数(累計)	5人養成中	9人	12人	26人	31人	50人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 運動教室受講の保護者に事後アンケートを実施し、げんきキッズ教室の実施効果を検討し、今後の改善に役立てている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] 運動教室の指導及び指導者養成について関係各団体から協力を得ている。 [情報協力] 大学等の教育機関から子どもの体力向上のための情報提供を得ている。 [その他の協力] 大学等の教育機関に運動プログラムの監修及び有効性の検証について協力を得ている。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 関係企業・団体との連携による事業の実施に努める。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>子どもの体力向上のための事業として、「げんきキッズ教室」を実施し、平成22年度は10区56教室での実施となった。 本事業を通じて、指導者を養成することができ、また、教室で実施した運動能力測定データをもとに、運動能力に有効なプログラム集を作成し、保育園198園、幼稚園148園、小学校204校に配布することができた。保育園、幼稚園からは、プログラム集に基づく指導について、問い合わせが多数あった。</p>			<p>平成23年度より、さっぽろ健康スポーツ財団の自主事業となる。運営面にかかわって、運動プログラムが適切に提供されるよう、指導、助言を行っていくことが必要となる。 また、保育園、幼稚園、小学校へ配布した運動プログラム集を広く活用してもらうために、関係部局、機関と連携しながら研修会等を企画・運営する必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>○平成18年度より行ってきた本事業は、市内全区の体育館で実施され、1000名を超える子供に体を動かす楽しさを実感できる機会を提供している。</p> <p>○この事業は、平成23年度より、さっぽろ健康スポーツ財団の自主事業として継続される。</p> <p>○運動教室が適切に開催されるよう、財団が開催している運営プロジェクト会議に参加し、指導・助言を行う。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		5-2-1			事業名	子ども体力向上事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	5,000	6,000	6,000	6,000	23,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	5,000	6,000	6,000	6,000	23,000			
予算	事業費	5,000	6,000	6,000	6,000	23,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	5,000	6,000	6,000	6,000	23,000			
実績	事業費	5,000	6,000	6,000	6,000	23,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	5,000	6,000	6,000	6,000	23,000			
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					100.0%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										